

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	4 月中		4 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	6	-3	1.00	36	+3	1.00
	30日死者	3	+1	0.50	10	-1	0.28
	30日以内死者	9	-2	1.50	46	+2	1.28

○ 全国

死者	区分	3 月中		3 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	177	-49	1.00	582	-31	1.00
	30日死者	34	-9	0.19	126	+1	0.22
	30日以内死者	211	-58	1.19	708	-30	1.22

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

4月末の県下の「30日死者」は10人（-1人）、「24時間死者」は36人（+3人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は46人（+2人）であり、「24時間死者」の1.28倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神4人（40.0%）、西播3人（30.0%）、神戸1人（10.0%）、東播1人（10.0%）、高速1人（10.0%）で発生している。
- 状態別 歩行中5人（50.0%）、自動車乗車中2人（20.0%）、自転車乗用中2人（20.0%）、自動二輪乗車中1人（10.0%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が8人（80.0%）、25～64歳が2人（20.0%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が7人（70.0%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が7人で、70.0%となっている。